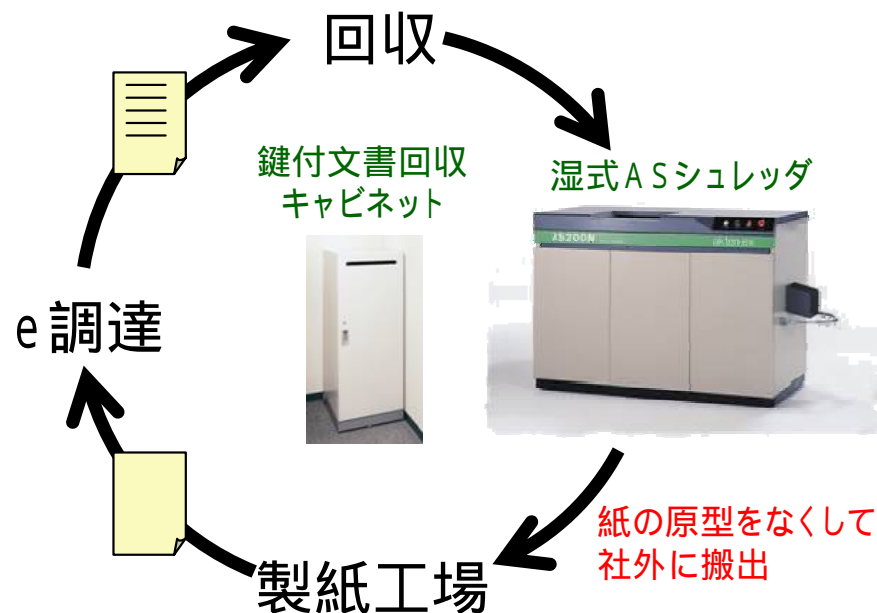


使用済の社内外文書を湿式ASシュレッダを用いてパルプ状にほぐし、再生紙化。「インターネット調達」などの循環型調達で自社に還流させ、繰り返し使用します。



一般的な処理方法	
	紙を細かく切断すると、再生紙の原料として利用しにくくなります。
	リサイクルを考え大きめに切断すると、情報の判読が可能です。
湿式ASシュレッダ	
	紙をパルプ状に戻すため、情報の判読は極めて困難で、かつ再生紙の原料として利用しやすくなります。
	処理直後の状況

印刷情報をパルプ化してから社外へ搬出。各種OA用紙や印刷用紙に再生して、繰り返し循環使用することにより、「情報セキュリティの確保」と「環境保護(資源循環リサイクル)」を実現します。

当社のCO₂削減効果試算モデル

[前提] 当社の機密文書等の年間リサイクル量: 75t/年 (A4 PPC用紙換算: 1,875万枚相当)

当社従前方式(段ボール箱毎溶解し、トイレトペーパーに再生)でのCO₂の排出量: 185,623.8kg/年

当循環方式でのCO₂の排出量: 104,261.0kg/年

- = 81,362.8kg/年 **年間約81.4tのCO₂を削減!!**

(株)日立製作所 生産技術研究所での分析結果 (分析ツール「SI-LCA」(System Integration-Life Cycle Assessment)にて試算)